

【小笠原村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

○一人一台端末を活用した教育プログラムの実施。

- ・校内学習及び校外学習における端末活用の推進。
- ・村立学校間（父島～母島）及び村外（村内～本土）をつないで実施する交流授業の実施。
- ・夏季休業期間中等における遠隔授業の実施。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期において、一人一台端末を完全整備したことで、部活動遠征時の遠隔授業のほかオンデマンド配信による学習機会の創出が可能となった。

また村立学校教員間におけるオンライン会議の実施、児童生徒からの課題提出を行うなど活用の幅を広げられている。

一方では、端末の取り扱いによる故障、端末本体の重量による持ち運び時の支障、当村の気象条件が原因で発生する端末の不具合が課題となっており、取り扱いについては1人1人に物を大事にする意識を持たせること、保管方法については保管場所を含め今後も検討していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

当村では父島と母島をつないで実施する授業及び会議には一人一台のICT端末は必要不可欠であるため、引き続き学校教育の中心として活用することとしている。また遠隔離島であることから各種研究授業の村外発信にも積極的に活用することとしている。

しかしながら第1期で課題となった端末本体の軽量化、故障及び不具合等が頻発する課題改善は第2期の端末更新における克服すべき課題としている。

児童生徒及び家庭において負担なく利用するための端末の選定が求められている。